

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

千葉県南房総市 南房総市立富山国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
34,066	3,401	第2種該当	-	10:1

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
47	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	51
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
44	-	44

**グラフ凡例**

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

## 経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和元	年度	-
年度	-	年度

## I 地域において担っている役割

中山間の公共交通が脆弱な地域に立地する医療機関として、通常診療、救急医療、在宅医療など、地域住民の生涯にわたる「かかりつけ医」としての役割を果たしています。  
また、近年は新型コロナウイルス感染症対応の重点医療機関として、入院専用病院としての運用により中等症までの患者の受け入れを行い、その役割は地域のみならず安房医療圏域を主体に広域的なものとなりました。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度以後は、新型コロナウイルス感染症の影響により、全床をコロナ専門病床に転換し、患者受け入れに伴う病床確保、一般入院制限や人間ドックの受け入れ中止などを行ったことから、病床利用率が大幅に減少し、これにより医療収益、医療収支比率を大きく減少させる結果となりましたが、コロナに対する病床確保補助金により経常損益は黒字となりました。  
令和5年度に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが5類に変更になって以後、一般入院を再開し感染症対応と通常医療提供の両立を目指し取り組みを進め、病床利用率は回復傾向にあり医療収益は改善しましたが、人件費、エネルギー価格及び物価高騰の影響による支出の増大により経常収支比率は減少する結果となっています。

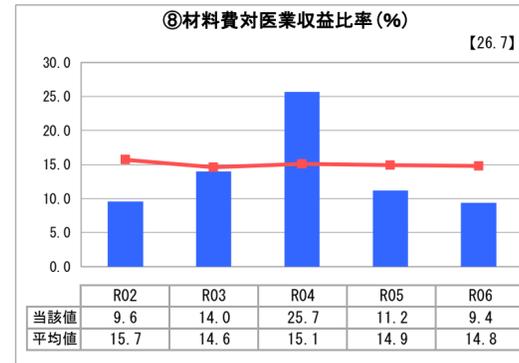
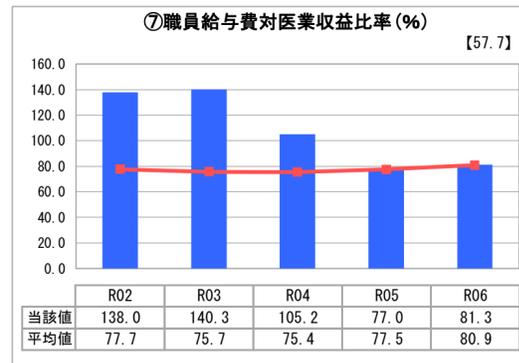
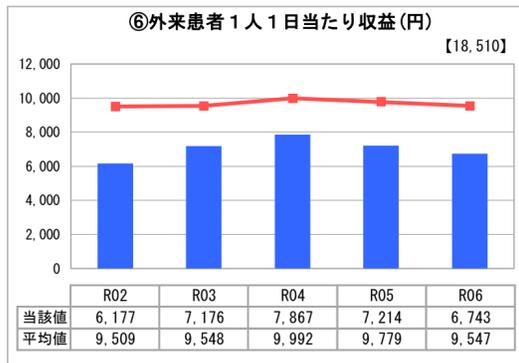
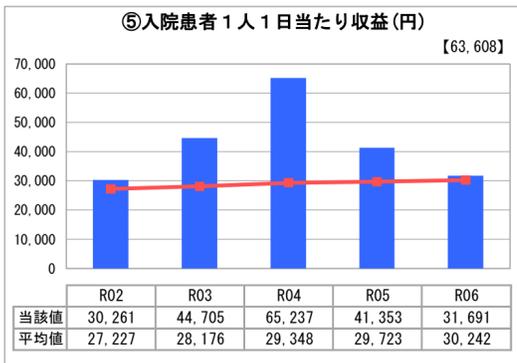
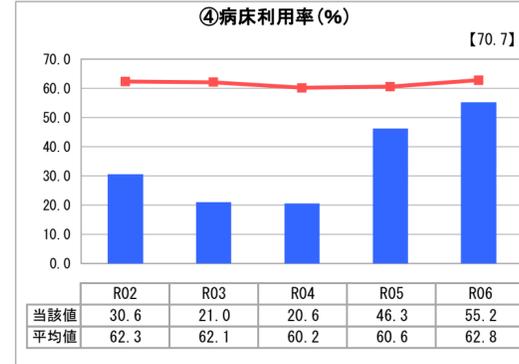
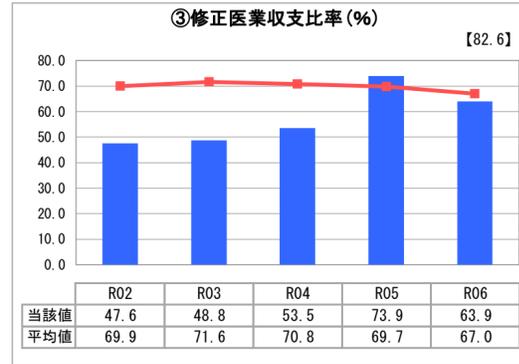
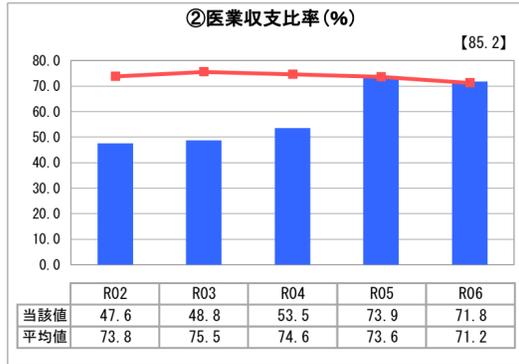
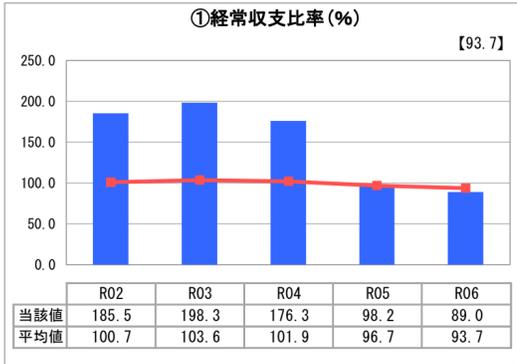
### 2. 老朽化の状況について

病院建物については築36年を経過しており、特に設備関係は老朽化が顕在化し修繕費用が増加してきていることから、大規模改修又は建て替えの検討が必要となってきています。併せて医療機器についても耐用年数を踏まえた計画的な更新の実施が必要となっています。  
なお、器械備品減価償却率が令和3年度から大きく減少しているのは、新型コロナウイルス感染症対策補助金の活用により、感染症対策や療養のための医療機器の整備を推進し、また、令和4年度から5年度において電子カルテシステムや医事会計システム等の医療情報システムの導入を実施したことが大きな要因であると考えられます。

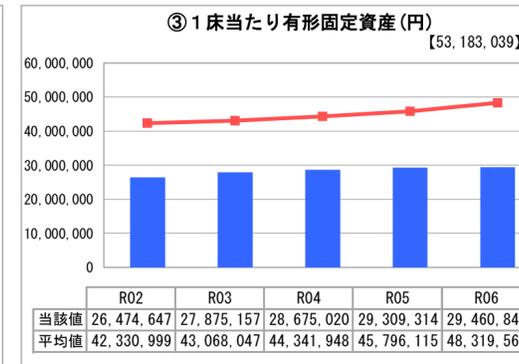
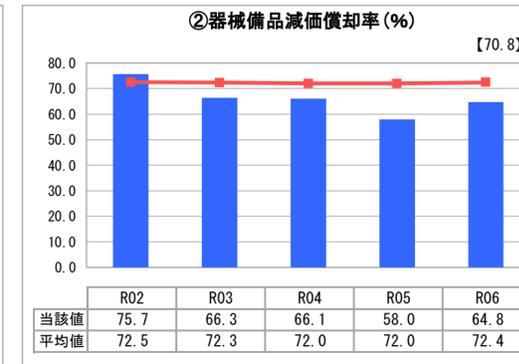
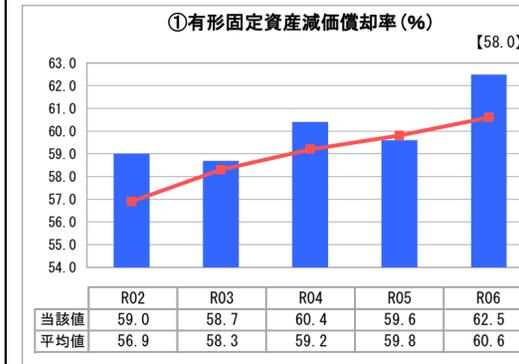
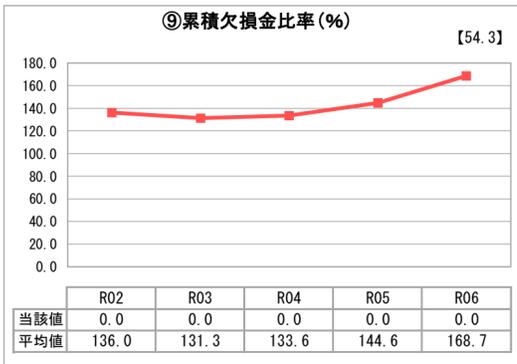
### 全体総括

安定した経営基盤の確保に向けて経営改善を推し進めるとともに、人口減少下にあっても、今後において医療需要が増加することが見込まれる在宅医療サービスへの提供体制強化を図るとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療・福祉・保健との連携を推進する必要があるほか、医療技術の向上に対応した医療機器の導入や、老朽化した施設や医療機器の更新を図る必要があります。さらには今後の医療従事者確保の困難性も踏まえ、医療DX化の推進により労働生産性の向上を図る必要があります。

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。